

報告事項サ

山陰サポート連携協議会（S×T協議会）の取組概要について

山陰サポート連携協議会（S×T協議会）の取組概要について、別紙のとおり報告します。

令和2年10月21日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

## 山陰教師サポート連携協議会（S×T協議会）の取組概要について

令和2年10月21日

鳥取県教育センター

山陰教師サポート連携協議会（S×T協議会）の取組として、島根大学出身新卒者を対象とした「オンライン座談会」を下記の通り実施しました。

### 記

#### 1 趣旨

島根大学出身の新卒初任者、島根大学職員、鳥取県教育センター指導主事をオンラインでつなぎ、同期の悩みの共有や関わりのある大学職員からの言葉かけなどを通して、初任者の安心感の醸成やつながりの再認識を図る。

※年度当初は島根大学新卒者を対象とした学校訪問を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の状況を受け、学校訪問は中止とし、その代替としてオンライン座談会を実施することとした。

#### 2 日時

令和2年9月7日（月）午後3時45分から4時45分まで

#### 3 参加者

島根大学卒業の新規採用者（9名中7名参加）

島根大学教師教育研究センター担当者（4名参加）

鳥取県教育センター初任者研修担当者（3名参加） 計14名

#### 4 内容

(1) 鳥取県教育センター指導主事ミニ講座（5分×3本）

(2) 2グループに分かれて 意見交換

日頃の様子や悩みの共有、自己の課題解決に向けて

(3) 島根大学教師教育研究センター所長からの一言

#### 5 座談会を終えて初任者の感想（一部抜粋）

##### ①オンライン座談会をした感想

- ・同期の友達も、担当学年が異なっても同じような悩みを抱えていることがわかり、普段抱えている不安な気持ちなどが解消された。
- ・なかなか直接全員と会うことができないため、こうしたつながりをこれからも大切にしていきたい。
- ・オンラインではあるものの、同じ大学で教育実習や採用試験等ともに歩んできた仲間の現在の頑張っている様子などを聞くことができ、自分も頑張ろうという気持ちになった。
- ・お世話になった先生方の話を久しぶりに聞くことができ、今後の仕事に対するやる気につながった。
- ・大学の先生の顔を見て懐かしい気持ちとともに、少し安心した気持ちになった。
- ・教員の立場が理解できるようになったため、学生時代とは違った捉え方で大学の先生の話聞くことができた。
- ・初任者とは異なる視点や解決方法を大学の先生から具体的にアドバイスいただけたので、

## 別紙

普段の生活ですぐに生かすことができた。

### ②オンライン研修に対する要望やアイデアの提案

- ・少人数のグループをいくつかつくり初任者同士で話し合える時間を確保する。
- ・話題や話合いの要点を常に画面に表示すると、話合いがスムーズに進む。
- ・異校種の初任者の先生とも情報を交換してみたい。

## 6 取組の成果と課題

同期が交流することによる安心感や大学職員との再会は、移動が制限されるコロナ禍では効果的であった。一方、授業づくりなどの本質的な話になると、もう少し時間が必要なので、次回以降はその時間確保を含めた運営の見直しを行う。

## 7 今後のスケジュール

- 1 2月中旬 第2回オンライン座談会
- 3月中旬 第3回オンライン座談会

※R3年度に鳥取県の教員として新規採用となるR2年度島根大学卒業生も参加対象者とする。

R2年度初任者が1年先輩教員として後輩へのアドバイスをを行う。